

## 定期点検サービスご加入までの流れ



弊社のシートシャッターの設置後、常時お申込み可能です。  
現地調査後に、御見積をご提示させていただきます。

### 定期点検サービスご加入における注意点

- 台数、機種により金額が異なるため、お申し込み後、御見積をご提出いたします。
- 定期点検費用は、御使用のシートシャッターにより費用が異なります。また、高所作業車等が必要な場合は別途御見積となります。
- 日曜日、祝祭日及び深夜・早朝は割増料金となります。
- 12月29日～1月5日の間、ご指定いただくことは出来ません。

### ●定期交換推奨部品の耐久年数・回数について

モータ、減速機	5年 又は 50万回	各センサ	5年 又は 50万回
ホイール	5年 又は 50万回	リミットスイッチ	5年 又は 50万回
制御盤	5年 又は 50万回	バッテリー	3年
端部ローラー	3年 又は 10万回		

※上記は定期的にメンテナンスを行った場合を示します。

※ご使用状況、環境により異なります。

### ●消耗品

シート	樹脂ローラー
樹脂ガイド	導電性テープ

### メーカー連絡先

定期点検・メンテナンスについてのお問い合わせ先

**株式会社 ユニフロー エンジニアリング部**

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-30-4 BR 五反田

**東日本** ☎ 0120-504-226

**西日本** ☎ 0120-590-226

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

受付時間

平日 9:00 ~ 18:00  
土曜日 9:00 ~ 17:00

**株式会社 ユニフロー**

本社 : 〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-30-4 BR 五反田  
TEL 03-5719-6700 FAX 03-5719-6699

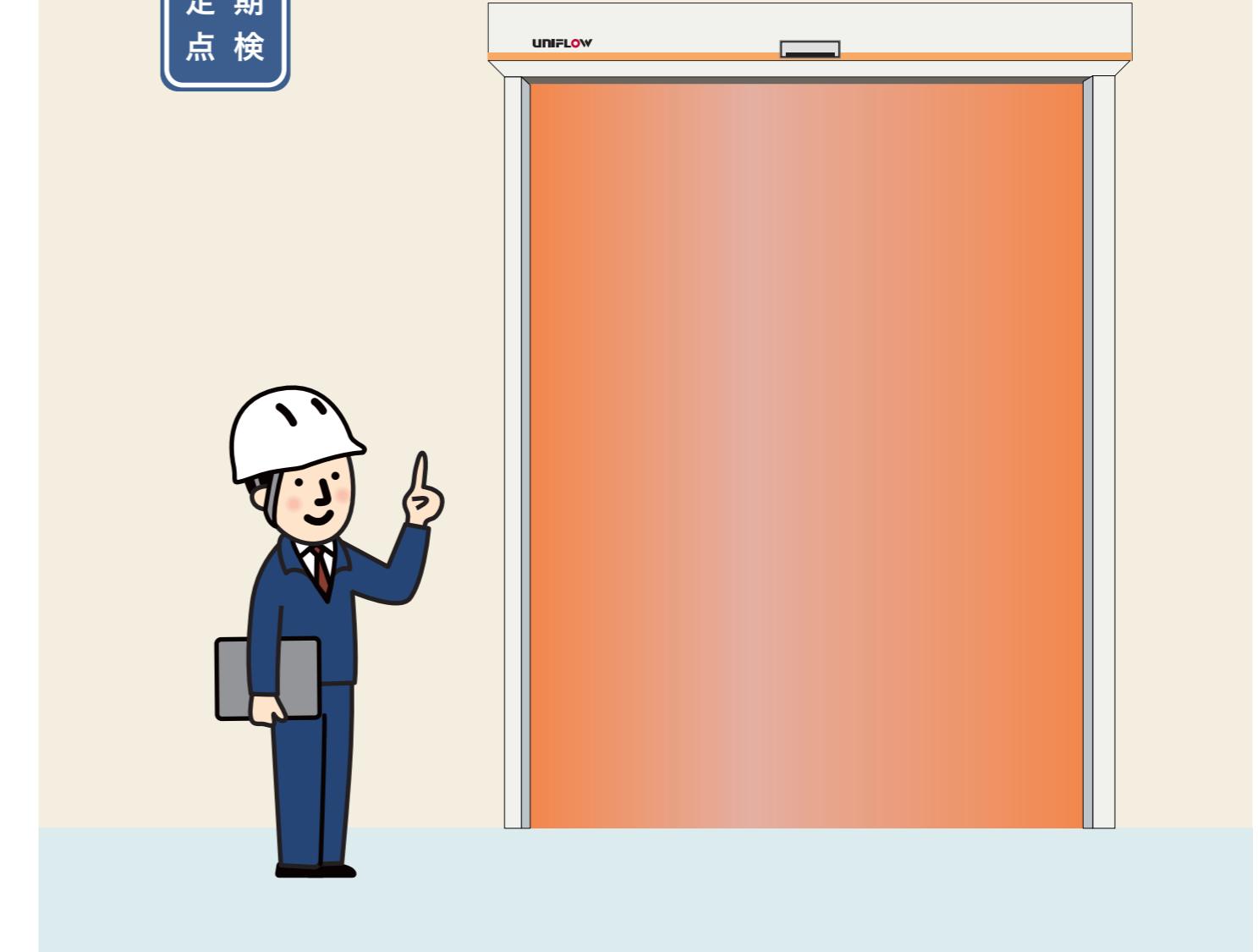
2412

# 定期点検のご案内

お使いのシートシャッターをトータルサポートいたします。

メンテナンスサポート  
maintenance support

定期  
点検



(株) ユニフローのススメ

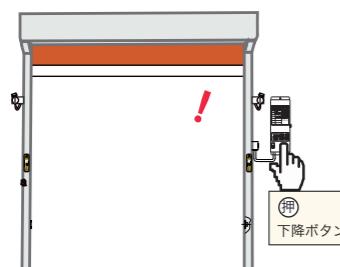
(株) ユニフローでは、シャッターの安全を守るために、「長期修繕計画」にて、建物管理者が定期点検を実施することを推奨しています。

<https://www.uniflow.co.jp>

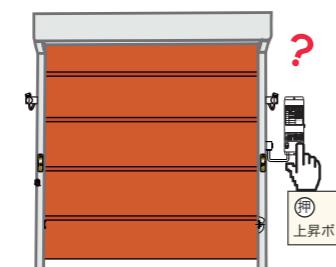
# シートシャッターを取付した後もユニフローが全力サポートいたします。

## シートシャッターをご使用中、こんなことありませんか？

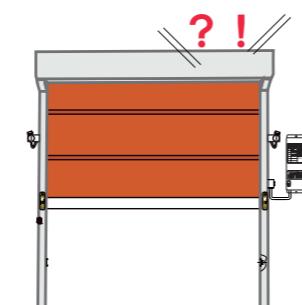
シートシャッターが閉まらない



シートシャッターが動かない



シートシャッターの動きがおかしい



お困りのことがありましたら、私たちユニフローにご相談ください。  
製品技術を熟知した作業員が点検にお伺いいたします。

## 製品をより長く、安心してご利用いただくために

シートシャッターを安全・快適にお使いいただくためには、以下のメンテナンスが重要です。

- お施主様、建物管理者様の日常の点検やお手入れ。
- 専門の作業員による定期的な点検、点検結果に基づいた調整、部品交換の実施。

ユニフローでは、年1回または2回の定期点検を推奨しております。

## ユニフローのシートシャッター定期点検とは

適正な価格で、最適な更新・修繕計画をご提案いたします。

駆動部品、電装部品など、開閉の繰り返しや年月の経過などによって、劣化が進行します。これを放置しますと、正常な機能が損なわれて故障や事故の原因となることがあります。

維持管理を適切に行う事により、製品寿命をより長くし、故障などのトラブル発生を未然に防ぎます。

プランは、「年1回点検」・「年2回点検」の2種類あります。

## 定期点検のメリット

定期的な点検により、機器の状態を正確に把握し、シートシャッターを最良のコンディションに戻します。

また、万が一不具合が発生した場合も大きなトラブルに発展することを未然に防ぎます。

定期点検は大切な資産を最大限に有効活用し、稼働率・業務効率を高める為のプランです。

### メリット1



#### 寿命をより長く

定期的な点検により、機器性能が安定し、製品をより長くご利用いただけます。

### メリット2



#### 故障が低減

定期点検によるきめ細かいケアにより、故障の発生率を低減できます。

### メリット3



#### トラブル費用軽減

大きな故障に発展する前に、小さな故障を見つけ対応致しますので費用の負担が軽減されます。

### メリット4



#### 消耗している部品の交換時期がわかる

消耗部品の交換時期を専門の作業員が詳しく調べるので、確認の手間が省けます。

※部品代は別途かかります。

### メリット5



#### 製品の状態が把握できる

点検後に製品の診断内容をまとめた報告書を提出致します。



## 定期点検の内容について(年1回プラン・年2回プラン)

### 本体ボックスセット

- ・機能に影響するような異常な変形・損傷
- ・機能に影響するような異常なサビの発生
- ・左右の側板固定(ボルトの緩み・脱落)
- ・ローターパイプ回転方向への遊び
- ・Mホイル固定ビスの緩み・折れ

### シート

- ・破れ、磨耗、汚れ
- ・パイプの変形、磨耗、左右のズレ

### シート動作

- ・スロースタート、スローストップ動作(モデルによる)
- ・停止位置
- ・上下限リミット直前停止状態
- ・モーター等の異常音、異常振動
- ・シート左右のバランス、引っ掛けはないか

### レール

- ・機能に影響するような異常な変形・損傷
- ・機能に影響するような異常なサビの発生
- ・樹脂ガイドの磨耗・割れ
- ・レールの固定

### 電気部材の点検

- ・電源ブレーカーを遮断し、基盤から各コネクタを外して以下の点検(データ記録)をする。
- ・電源電圧値測定
- ・モーターコイル抵抗値測定
- ・ブレーキコイル抵抗値測定
- ・モーターコイルの絶縁抵抗値
- ・ブレーキコイルの絶縁抵抗値
- ・回生抵抗値の測定

### 全体配線

- ・配線に異常ないか  
(モーター線、リミット線)

### 起動センサ

- ・固定状態(グラつきはないか)
- ・配線状態
- ・検出窓・カバーの汚れ
- ・振動・衝撃に対する安定性
- ・検知感度、エリア

### 制御盤

- ・盤内配線状態
  - ・基板上の各コネクタ差し込み状態
  - ・埃、切粉、水、異物、結露
  - ・基盤の表面状態(ヒビ割れ、錆)
  - ・運転状況の確認(動作回数・運転履歴等)
- ※設置後3年以上経過した場合

### 安全センサ

- ・固定状態(グラつきはないか)
- ・配線状態
- ・投光部・受光部の汚れ・反射板の汚れ
- ・振動・衝撃に対する安全性
- ・下降時遮光で反転上昇を確認

### その他

- ・インターロックの作動状況
- ・他の装置との連動状態